



いずみこども園だより

いずみこども園
ホームページ
QRコード



令和7年5月30日
千代田区立いずみこども園
園長 穴原江美

【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

神 田 祭

幼児部副園長 佐藤 まゆみ

アジサイが鮮やかに色付き始めました。また、風に乗って甘い香りが漂ってきて、クチナシも咲き始めた様子で、季節の移り変わりが感じられます。新年度がスタートして2か月が経ち、毎朝、ゆり組あいさつ隊の「おはようございます」の元気な声が玄関で響いています。ゆり組の子どもたちは、園で一番大きいクラスになったことが嬉しくて、進級した4月に、「何組になったと思う？」と、にこにこして私に問いかけました。「もしかして…ゆり組さん？」と答えると「あたりー」と、とっても嬉しそうにしていました。あいさつ隊やおやすみ調べ、ウサギのミルクちゃんの世話など役割がありますが、どれも張り切って活動しているので、頼もしく感じられます。

5月10日、11日に神田祭が行われました。神田祭は、江戸三大祭および日本三大祭の一つに数えられる祭です。2年に一度の開催で、今年は本祭にあたり、盛大に行われました。

9日の夕方には、神輿御霊入れがありました。神主さんが祝詞を奏上して、あたり一帯が神聖な空気に包まれます。それは、その場にはいないと感ずることができない感覚です。10日の午前中は、和泉小学校といずみこども園の職員とそれぞれのPTA会長と合同で、16町会の神酒所を巡りました。それぞれの神酒所では、神田の一本締め 「イヨ～オ、シャシャシャン シャシャシャン シャシャシャン シャン」と手締めます。お祭りが始まることと同時に、自分の身も引き締めました。

午後からは、子ども神輿や山車の登場です。小学生が学年ごとにお神輿を担ぎ、その中には、こども園の修了児が大勢参加していたので、嬉しくなりました。そして、1年ずつの成長の差も見ることができました。小学生のお神輿の後には、町会でのお神輿になります。職員も各町会に出向き、子ども神輿や山車の応援をしました。各町会で多くの園児が参加する姿に出会うことができました。山車を引いて練り歩く中に、1歳児あひる組の子どももいたので驚きました。みんなとってもいい表情をしていました。みんなで力を合わせて、夢中になって、いい時間が流れていました。

お祭り明けの月曜日は、登園時から、「お祭りで会ったよね!」「おみこしワッショイしたよ」と、予想通りお祭りの話が聞かれ、「お神輿つくりたい!」とお神輿作りがはじまりました。出来上がったお神輿を担いで、園内や園庭を練り歩きました。ばら組、もも組もゆり組の真似をしてお神輿を作り、お祭りごっこを楽しみました。その様子は、ホームページに掲載したので、ぜひ、ご覧になってください。さらに続きがあって、あひる組もお祭りに参加した子どもがいたので、職員が山車を作りました。ゆり組のお神輿の後から、あひる組の山車が続き、玄関ホールが少しの間、いずみ祭になりました。

町会巡りでいただいた手ぬぐいを、玄関ホールの掲示板に飾りました。

どの町会の手ぬぐいも、一つとして同じものがなく、おしゃれで粋な装飾になっています。

